

のぼりべつ 社協 だより

noboribetsu shakyo



特集 頼れるご近所さん 民生委員・児童委員

子育てサロン「と～ます」でサンチャイルドへお出かけ
スタッフさんがお子さんとお母さんをいつも温かく見守ります。毎月第2月曜、第4金曜に「であえ～るはまなす」で活動しています。

CONTENTS

- P 2・3 特集 頼れるご近所さん 民生委員・児童委員
- P 4・5 赤い羽根共同募金運動がはじまります
- P 6・7 きずな かわら版
- P 8 みんなの拠点「あえる STATION」誕生！
1人暮らし高齢者等を見守る タブレット見守りサービス
社協新体制のご紹介



2017
09.01 No. 132

[発行] 社会福祉法人 登別市社会福祉協議会
[事務局] 登別市片倉町6-9-1 登別市総合福祉センターしんた21内
[TEL] 0143-88-0860
[FAX] 0143-88-4546
[mail] info@kizuna-shakyo.jp
[H P] http://kizuna-shakyo.jp/
[Facebook] https://www.facebook.com/kizunashakyo/



この社協だよりの発行は、赤い羽根共同募金の支援を受けています

特集

頼れるご近所さん

民生委員・児童委員



民生委員制度 創設100周年
シンボルマーク

日頃から地域での見守りや相談などを行っている民生委員・児童委員。今年、民生委員制度創設100周年を迎えました。今回の特集では、民生委員・児童委員の活動内容や活動に対する想い、記念大会についてお伝えします。

■民生委員・児童委員とは

民生委員制度は、大正6年、世界的な経済恐慌により、社会や生活への不安が取り巻く地域社会において、地域住民の救済や生活向上を図ることを目的に生まれました。

民生委員・児童委員は地域住民の中から選ばれており、厚生労働大臣から委嘱を受けたボランティアとして、現在、全国では約23万人、登別市では128名が活動しています。（8月1日現在）

活動内容は、定期的な訪問を通じた、高齢者や障がい者世帯・子どもたちの見守り、声掛け、地域の実態の把握、子育てに関する相談・支援など、その内容は多岐に渡っています。また、民生委員・児童委員の中から選任される「主任児童委員」は、子どもがいる世帯や子育ての悩み等を専門に活動を行っています。

福祉・介護などについての相談を受けた際に、行政の制度やサービス、専門機関などを紹介し、必要な支援につなげることも民生委員・児童委員の役割の1つです。そのため、福祉の相談窓口である社協や地域包括支援センターなどへ住

民を「つなぐ」機会も多く、課題を解決するために地域住民に寄り添いながら活動を進めています。

近年では、一人暮らし高齢者の増加や孤独死が問題となっていることもあり、行政や社協と連携して、地域の一人暮らし高齢者の世帯や寝たきりの高齢者がいる世帯の健康状態などを把握し、防犯や見守り、災害時の安否確認などに役立てる活動を行っています。

■登別市の組織体制

市内には6つの法定単位民生委員児童委員協議会（地区民児協）があり、毎月行っている定例会により意見交換や課題の検討をしながら日々の活動に取り組んでいます。また、全ての民生委員・児童委員が足並みを揃え、より充実した活動を行うため、登別市民生委員児童委員協議会を設置し、その事務局を社協が担っています。

登別市内の民生委員・児童委員の人数は次のとおりです。

登別地区	19人（20人定員）
中央東地区	27人（27人定員）
中央西地区	20人（21人定員）
鷲別地区	16人（17人定員）
美園・若草地区	19人（20人定員）
緑陽地区	27人（27人定員）

■仲間と共に地域を見守る



登別市民生委員児童委員協議会
会長 千葉 一男さん

20代の頃から町内会活動に関わっており、先輩方に指名されたこともあり、現役として働いているなか民生委員になりました。平成元年に委嘱を受け、今年で29年目になります。今年も全国大会に参加させていただきましたが、100周年の重みを感じられ、身の引き締まる思いです。私が30年近く民生委員を続けることができたのは、町内会役員の方々や同じ地区の民生委員に助けられてきたからです。民生委員は決して1人では務まりません。仲間や家族に理解してもらうことが必要です。



地域のサロン活動にも、積極的に協力しています

日頃の活動において感じている難しさは、いかに地域で困りごとを抱えている人となつながら、いかにできるかということ。表札を出している家も少なく、名乗ってもなかなか鍵を開けてもらえません。生活保護世帯や母子家庭、認知症高齢者など、現在の地域にはさまざまな難しさがあると感じています。

また、会として課題に感じていることは、担い手不足です。仕事をしている方は、お願いしてもなかなか引き受けてもらうことが難しく、民生委員には75歳までと年齢の上限の目安があるため、担える人材が少ないのが現状です。地域住民や企業の方などにも民生委員の存在をより知ってもらうことで、民生委員として活動しやすい環境を整えていくことができると感じています。

困りごととは民生委員・児童委員へ

民生委員・児童委員は、福祉のことだけでなく、生活全般についての地域の相談役です。住民の生活への不安や困りごとなどに対し、相談を行っています。お住まいの地域の民生委員・児童委員については、市社会福祉グループ(☎85-1911)もしくは社協(☎88-0860)へお問合せください。

介護・福祉に関することから、子育ての悩みまで、地域で生活していくうえで困ったことや不安なことがあるときは、解決に向けての「良き相談役」として民生委員・児童委員にご相談ください。

制度創設100周年の全道記念大会

6月には札幌市において、全道記念大会が行われ、約2千名が集まり、登別市からは34名が参加しました。式典では、これまでの活動で功績のあった民生委員・児童委員に対し表彰が行われました。本市の被表彰者は次のとおりです。



登別市からの参加者全員での記念撮影

●北海道知事感謝

(勤続年数25年以上)

早川宣子、千葉一男、筑野榮子

●北海道社会福祉協議会会長感謝

(勤続年数20年以上)

堀合重敏、山口 登、伊清淳彦、白戸良一、村井美保子、川島芳治、桑井孝子、大島重壽、堀尾政江

●北海道民生委員児童委員連盟会長感謝

(勤続15年以上)

島山基子、松山信昭、田代健一、高橋敏夫、太田 通、松平孝子、南 康子、西村美代子、工藤保秋、米澤壽朗、佐藤文子

●北海道民生委員児童委員連盟会長特別感謝

(寄付もしくは90周年記念大会時の被表彰者)

日野安信、森口 達 (順不同・敬称略)



民生委員制度創設100周年記念 登別市社会福祉大会

■主催：社会福祉法人登別市社会福祉協議会、登別市民生委員児童委員協議会、登別市、登別市共同募金委員会

■後援：登別市連合町内会

日時 平成29年10月1日(日)

12時50分～15時30分

会場 登別市民会館 大ホール

内容 ・民生委員制度創設100周年記念DVD

上映

・式典

登別市社会福祉協議会会長表彰
登別市共同募金委員会会長表彰

・福祉講演会「地域活性化の決め手はこれだ！」
「ご近所の底力・取材活動から」



講師 堀尾 正明氏
(フリーキャスター)
元NHKアナウンサー

・共同募金開始宣言 など

入場料

無料※入場には整理券が必要になりますので、社会福祉協議会にお問合せください。

赤い羽根共同募金運動



がはじまります

今年も10月より赤い羽根共同募金運動がはじまります。

12月までの3カ月間、戸別募金をはじめ様々な方法で募金活動が行われます。

運動期間

10月1日～12月31日まで

目標額

710万円

※共同募金は、社会福祉法に位置付けられた募金活動です。



胆振地区少年軟式野球大会でのイベント募金の様子

募金の使いみち

市民の皆さんにご協力いただく寄付金の約7割が登別の福祉活動に、約3割が全道規模の広域的な福祉活動等に活用されます。

さまざまな募金方法

戸別募金……町内会を通じて各家庭に寄付を呼びかける募金方法です。

街頭募金……ボランティアの皆様が街頭に立ち、寄付を呼びかける募金方法です。

法人募金……企業等を訪問して寄付を呼びかける募金方法です。

篤志家募金……個人宅を訪問して寄付を呼びかける募金方法です。

職域募金……会社などで働いている人に寄付を呼びかける募金方法です。

学校募金……学校内で寄付を呼びかける募金方法です。

イベント募金……各種イベントで寄付を呼びかける募金方法です。

その他にも、募金箱の設置など、皆さん一人ひとりのできるカタチでご協力をお願いします。

あなたの地域でイベント募金

年間を通して市内の各種イベントにおいてブースを設けて共同募金のPR活動を実施しています。

全市的なイベントから、町内会・商店・企業・団体等の身近なイベントや行事まで、さまざまな場面で、のぼり旗や募金箱等を設置いただきPR活動を展開しています。

寄付金付き記念バッジ完成!

「登別市PRキャラクター登夢くん」と「地獄の谷の鬼花火」

日本商工会議所青年部第30回北海道ブロック大会「湯乃国登別大会」の開催を記念し、登別商工会議所青年部協力のもと寄付金付きバッジを製作しました。デザインは今年も日本工学院北海道専門学校（学生さん）にお願いしました。本会事務局にて取扱いをしておりますので、ご希望の方は本会までご連絡ください。

商品購入代金の一部は、登別市共同募金委員会を通じて、登別の福祉活動に活用されます。

「湯乃国登別大会」のHPはコチラ↓



寄付金付き記念バッジ完成セレモニーの様子

赤い羽根テントを助成しました!

登別市社協では共同募金の財源を活用した「きずな赤い羽根テント助成事業」を実施しており、今年も3町内会が助成を受けました。今後、町内会の行事等で活躍する予定です。



テント活用の様子



あなたも地域の応援サポーターになりませんか?

北海道の福祉活動推進への貢献を目的とした、赤い羽根共同募金運動を応援するサポーターがいます。

- 北海道日本ハムファイターズ
- 北海道コンサドーレ札幌
- 妖怪ウォッチ
- 初音ミク、等



※登別で活動する地元のスポーツ団体・少年団・サークル等からの赤い羽根サポーター宣言もお待ちしております!

PICK UP!

ガチャガチャ募金はじめました!

200円の募金につき1個、日本ハムファイターズがコンサドーレ札幌の赤い羽根限定缶バッジを進呈します。この機会にガチャガチャ募金をしてみませんか?しんた21の自動販売機横に設置しています!



中にはこんな缶バッジが入っています!



お問合せ先

登別市共同募金委員会

電話: 88-0860

FAX: 88-4546

※法人・企業による募金(寄付)の取扱いについて
共同募金は、財務省からの指定寄付金として認められており、寄付に対する優遇措置の対象となっています。法人・企業が共同募金に寄付をすると、その全額を損金の額に算入することができます。

きずな かわら版

デイサービス感謝祭を 開催しました！

7月9日(日)、しんた21において日頃本会デイサービスセンターをご利用いただいている方とご家族をお招きし、デイサービス感謝祭を開催しました。

今年で2回目を迎えるこの催しでは、創作活動と機能訓練の体験コーナーや射的・綿あめ・カキ氷などの露店を設けたほか、地域食堂ゆめみくるの協力により、そばやおでん、焼き鳥などといった飲食物の販売も行われ、ご来場いただいた約80名の方々に笑顔があふれていました。

また、日頃の感謝をこめて職員による踊りや時代劇の発表、ご利用いただいている方のカラオケ発表、ご家族向けに介護浴槽の説明会なども行いました。

ご利用されている方からは「お祭り気分を味わえてとても楽しかった。来年も開催してほしい。」「ご家族からは「母が利用している場所や介護浴槽がどのような所か知ることができて良かった。」といった声が聞かれました。



社協寄付金 (平成29年4月1日～7月31日)

(敬称略/単位:円)

受領年月日	寄付者名	寄付の目的	寄付金額
H29.04.06	室蘭民報社胆振中部支社	「新入学児童」新聞広告料の一部を社会福祉のために	30,000
H29.04.25	貴泉堂	愛の小箱	18,960
H29.04.26	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	3,200
H29.05.11	門山 郁子	日頃デイサービスでお世話になっている感謝の意を込めて社会福祉のために	3,000
H29.05.12	石坂 光汰朗	社会福祉のために	2,132
H29.05.24	匿名	会議の報酬を社会福祉のために	2,694
H29.05.24	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	5,200
H29.05.27	国際ソロプチミスト登別	チャリティーコンサート「愛のうたの夕べ」の益金の一部を社会福祉のために	30,000
H29.05.28	仲良し会	仲良し会チャリティー発表会 第3回紅白歌合戦の益金の一部を社会福祉のために	20,000
H29.05.30	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	1,020
H29.05.30	山田 大樹	会議の費用弁償を社会福祉のために	2,240
H29.06.13	いずみ亭	愛の小箱	26,397
H29.06.14	日本アマチュア歌謡連盟 NAK 室蘭支部	NAK 室蘭&外甚3兄弟カラオケ大会の益金の一部を社会福祉のために	20,000
H29.06.15	匿名	会議の報酬を社会福祉のために	2,694
H29.06.20	登別中央飲食店組合	チャリティーゴルフ大会の益金を社会福祉のために	50,000
H29.06.29	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	3,900
H29.07.05	わしこうD愛好会	第17回ダンスパーティーの益金の一部を社会福祉のために	10,000
H29.07.10	幌別地区ピールパーティー実行委員会	愛の小箱	300
H29.07.23	チャリティー『演歌名人会』実行委員会	チャリティー「演歌名人会」の益金の一部を社会福祉のために	10,000
H29.07.25	登別市役所内売店(登別市母子寡婦の会)	愛の小箱	10,128
H29.07.31	匿名	会議の費用弁償を社会福祉のために	1,020
H29.07.31	協同組合登別中央ショッピングセンター	愛の小箱(ガチャガチャ)	2,500

社協寄付物品 (平成29年4月1日～7月31日)

(敬称略)

受領年月日	寄付者名	寄付品名
29.04.22	イオン北海道(株) イオン登別店	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンギフトカード

ふれあいフェスティバル 2017のぼりべつ

すべての市民が地域社会の一員として自立し安心して暮らせる心豊かな社会福祉の実現をめざし開催します。メインステージでは、ボランティア団体等による芸能発表や寸劇、地域活動に貢献している85歳以上の方への「高齢者いきいきライフ表彰」などを行います。

日頃から地域福祉活動を実践している団体等がブースを設け、子どもから大人まで楽しめる交流の場をつくりまします。お誘いあわせの上、ぜひお越しください！

日時 平成29年9月10日(日)
10時～14時30分

会場 登別市総合福祉センターしんた21

内容

ボランティア体験コーナー、チケットナンバース、焼き鳥やジンギスカンなどの販売(引換券制)、市内障がい者施設で作成するこだわりの商品の販売(現金販売)、子ども縁日コーナーなど

前売券

1枚千円(屋台で使える商品引換券7枚、チケットナンバース抽選券、子ども縁日利用券、伊達産野菜詰め合わせ抽選券付き)

9月8日(金)まで、本会事務所にて取扱っています。



登別温泉
ペア宿泊券
が当たります!

まちなのまちびと

「まちびとには、登別のまちの人、問題とひとをマッチングさせる人、布の長さを補うまちのように地域を補う人という意味が込められています」

このコーナーでは、地域で精力的に活動されている方のきずな活動に対する想いや、これらの活動の展望などをお伝えします。

今回は、7月5日(水)に行われた、「ふれあいフェスティバル2017のぼりべつ」の実行委員会で実行委員長に就任した、田中秀治さんにお話を聞きました。

「福祉活動は楽しみながら」

ふれあいフェスティバル実行委員長

田中 秀治さん



今年度のふれあいフェスティバルの実行委員長を仰せつかりました。歴史あるイベントなので、先輩方のようにしっかりと務められるよう頑張ります。

フェスティバルは子どもから高齢者まで、障がいのある人でも、みんなで一緒に楽しむことの出来るイベントです。全ての人が平等である社会を実現させる、ノーマライゼーションの考え方への理解と協力を得るきっかけになれば良いなとも思っています。

病院で長く相談員として勤め、退職後は地域福祉に携わりたいとの想いで、現在さまざま活動に関わっています。町内会の福祉部長としてサロンの運営や、福祉団体に所属し

ての慈善活動、福祉施設や病院に向いての楽器演奏、少年野球連盟の会長として子ども達の育成にも取り組んでいます。

家にいる時間が無いほど忙しいですが、自分自身がスキルアップして、その学びを地域に還元したいという想いと、人と関わるのがやはり好きなので、人を喜ばせたいという想いから活動を続けており、それが私のライフワークになっています。

地域は今、どの分野も担い手不足で、加えて若い層の参加をなかなか得られないのが実情です。これからの地域に必要なのは、やはり次世代の育成であると思います。そして、担い手自身も楽しむことがとても大切であると考えています。

私自身、どの福祉活動にも楽しんで関わっています。地域の活動に楽しく関わってくれる担い手が、これから増えていくことを願います。

みんなの拠点

「あえるSTATION」誕生！

ステーション

アーニス2階に、地域福祉の拠点「あえるSTATION」が誕生しました！「あえるSTATION」では、現在、75歳以上の一人暮らしの方などを対象に、ボランティアスタッフと一緒に体操をしたり、お茶を飲んだり、帰りにお買い物をする事ができる「地域拠点丸ごと支え合い事業」を実施しています。

毎週火曜日が金曜日の午前中のごどちらかで月に4回ご利用いただくことができ、月に1回お食事をいたします。料金は税込月3千円（ご自宅からアーニスまでの送迎は無料、お食事会代も込み）。今後は誰でも立ち寄ることができ、地域住民同士がふれあい、福祉の情報を得られる拠点を目指して運営していきます。利用会員（定員あり）とスタッフを募集中ですので、詳しくは社協にお問合せください。

※今年度は幌別東小学校区にお住まいの方がご利用いただけます。

※利用希望の方には、社協職員がご自宅に訪問させていただきます。

ボランティア
スタッフ
利用会員
募集中!!



1人暮らし高齢者等を見守る

タブレット見守りサービス



ご家族が離れて暮らしているなどにより、一人での暮らしに不安がある65歳以上の方を対象にタブレットで安否確認が行える見守り事業を行っています。

利用される方は、大きな6つのボタンを触る簡単な操作を行うだけです。操作状況を確認し、関係機関等と連携しながら、幅広いネットワークで見守り活動を行います。24時間タブレットの操作がされない場合は、任意の宛先にメール連絡するので、離れて暮らすご家族の不安を解消することができます。

利用料は月2千2円（税抜）、初回の事務手数料のみ別途3千円（税抜）がかかります。（端末本体の料金は本会で負担いたします）

今年度はタブレット数を増大して事業を実施しておりますので、利用希望の方やご家族の方はお気軽にお問合せください。



利用者募集中!!



社協新体制のご紹介

社会福祉法の改正により、評議員・役員が新たに選任されましたのでご紹介します。

■評議員

（任期：平成29年4月1日～平成33年度定時評議員会まで）

田代健二（再）	斎藤正史（新）	黒田庄一（新）
佐藤卓也（再）	田中恭介（再）	田畑恒義（新）
畑山功一（新）	森 芳昭（新）	島田幸一（新）
田淵純勝（新）	瀧川正義（再）	南 行雄（新）
中原義勝（再）	安達陽子（新）	池島泰彦（新）
星川光子（再）	辻 勲（再）	後藤裕之（新）
島山基子（再）	太田 通（再）	

■役員

（任期：平成29年6月15日～平成31年度定時評議員会まで）

・ 会長	山田正幸（再）
・ 副会長	中川信市（再） 千葉一男（再）
・ 常務理事	内藤 繁（再）
・ 理事	
・ 工藤保秋（新）	川島芳治（再） 鈴木高士（新）
・ 植田正子（新）	小田恭久（新） 雨洗康江（再）
・ 田中秀治（再）	
・ 監事	三浦忠夫（新） 伊藤秀男（新）